

関常幸 議会報告

第60号
2022.8

発行責任者
南魚沼市議会議員 関 常幸
南魚沼市浦佐 2015 番地
TEL 025-777-2245



7月10日投票の

参議院選挙を振り返る！

参議院選挙投票日直前の8日、安倍元総理が街頭演説中、凶弾に倒れた。日本中を震撼させた、この暴挙に各党は、民主主義の破壊は許さないと訴え、異例の選挙最終戦となった。

参議院の定数は248。今回の改選は125、自民党は改選前の55議席を上回る63議席を確保し過半数を得る。

新潟選挙区も9年ぶりに自民党が議席を奪還する。前県議会議員の小林一大(49歳)が、3期18年の立憲民主党・森ゆう子氏と激戦を演じ、7万票の差をつけて初当選する。

<コロナ対策> 参議院選挙が終わり、今年は三年ぶりに行動制限のない夏休みを迎えられると思ったら、第7波が到来する。7月27日全国で20万9千人、新潟県や25道府県で過去最多を更新しており、南魚沼市も61人と拡大。現在のウイルスはオミクロン株の派生型「BA・5」で感染力が強い。各地で「BA・5」より、さらに感染力が強い新たな「BA2・75」が報告されており、感染数の増加や、流行の長期化に懸念する。経済もまわさなくてはならない。

病床使用率も50%を超え、地域によっては医療制限が始まった。コロナ政策、経済活性化政策、政府の強い決断と実行が不可欠。

<憲法改正> 日本国憲法が制定され75年、一回も改定されていない。大きく変化した国内外の環境(政治、経済、社会)に対応する必要がある。

憲法改正には衆議院、参議院で三分の二以上の賛成が必要だ。今回の参議院選挙で改憲に必要な勢力(三分の二)を獲得する。そして国民投票、過半数以上の賛成で憲法は改正される。(衆議院は三分の二以上確保)

自民党は①自衛隊の明記。②緊急事態条項。③教育権の充実。④参議院の合区解消の四点を挙げている。

自民党は議席を大きく伸ばした。おごらず、国民の声にしっかりと耳を傾けこの難題、難局を切り開かなくてはならない。

一日でも早い平和がウクライナに！

投票日 7月10日
注意
○この掲示場は参議院新潟県選出議員選挙ポスター掲示場
南魚沼市選挙管理委員会
○ポスターは指定された区画にはつくとください。
○この掲示場は参議院新潟県選出議員選挙候補者
以外の方は使用できません。
○掲示場をこわしたり、ポスターを破いたりする
と罰せられます。

第1回臨時議会

(7月14日)

原油価格や光熱費を含む物価の高騰の影響を受けた生活者や事業者支援のための、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」2億4千3百万円(国補助金)を活用し、南魚沼市独自の各種緊急支援策を、第42号議案として上程される。

<生活者支援に関する事業>6,650万円

① 子育て世帯生活支援

ひとり親・非課税・家計急変世帯に対し児童1人当たり5万円上乗せ支給。

② 保育園等給食費支援～給食用食材の上昇分を支援。

③ 学校給食費支援～小・中・特別学校の給食用食材の上昇分を支援。

<事業者支援に関する事業>1億5,150万円

① 高齢者施設支援～介護サービスを提供する施設に燃料費の上昇分を支援。

② 障がい者施設支援～対象施設に燃料費の上昇分を支援。

③ 交通事業者支援～地域交通として維持のため、貸し切りバス6万円、タクシー3万円、代行車3万円を保有台数に応じて支援。

④ 中小企業金融制度事業～「原油・価格高騰対応の資金融資」を受けるために支払う信用保証料の一部を支援。

⑤ 農業者等への支援～原油、肥料、餌料等の価格高騰による経営支援。

コロナ禍における市民への緊急対策であるから、市長の専決処分でもいい内容だが、議員1人が反対する。

6月の定例議会でも、ただ一人補正予算(第2号)に議員1人が反対。コロナ禍での復興対策として①プレミアム付き商品券②夏季合宿誘致への支援③プレミアム付き旅行券④市内イベント復興支援の4事業のほかに、ひとり親世帯や住民税非課税世帯などへの生活支援を盛り込んだ事業。

多様な考えや意見があっただけで、反対すると生活困窮者や市民、事業・施設運営に苦勞している事業者には支援できなくなる。修正動議を出し反対すべき。

6月定例議会

(6月6日～17日)

議会開会前に執行部新体制の紹介あり、病院事業管理者外山前副市長は登壇して挨拶。部長は自席。外山管理者の職員と共に市民病院を創るという強い思いが伝わる。小澤実議員に議長4年の労に、全国市議会議長会長より表彰の伝達式が行われる。

市長所信表明



・ロシアのウクライナ侵攻による避難民の受け入れを表明。

・コロナへの対応は、今後社会経済活動を平常化するという視点から取り組む。

・臨時特別給付金 児童一人10万円、生活支援特別給付金 児童一人5万円

・住民税非課税世帯に臨時特別給付金を今年度も継続。

・成人式、令和3年度分を5月3日に、今年度は10月9日に予定。

・市立病院の経営効率化推進のため、5月1日付けで「経営管理本部」を設置。

・「新ごみ処理施設」建設場所、地元の同意が得られた。

・北京オリンピックに出場した田中友理恵選手の報告会、母校・塩沢中で開催。

・ふるさと納税、令和3年度寄付額45億11万4千円。

県内1位に全国の皆様に感謝。

★ 議会全員協議会

＜地下水採取に関する一部条例の改正＞6月6日(月)議会終了後から

本会議最終日、第51号議案として追加日程で上程される

六日町市街地は地盤沈下のため新規井戸は掘れなかったが、平成29年に井戸の掘削を認めるとともに、大和地区でも節水のため新たな規制を導入した。規制により多くの課題（雪が消えない等）が発生する。

今回の改正は、雪が消えないという課題を解消することだが、地盤沈下地域と地盤沈下が発生しない地域との方向性を決めるには、もうしばらく観測・調査が必要で、地盤沈下リスクと市民生活を守るという両面からの改正。

特に降雪時の故障等には、生活に支障が無いように対応するという。

＜新ごみ処理施設整備事業の進捗状況について＞6月7日(火)13:30～

- ・ 27年2月 2市1町で建設を目指す「基本合意書」締結
- ・ 27年11～29年2月 一般公募（3か所応募）、説明会
- ・ 30年1～R1年5月 国際町地内を候補地として選定、説明会
反対署名が近隣行政区で！
- ・ R2年2月 国際町白紙撤回
- ・ R3年4月～10月 島新田区にて協議、説明会
- ・ R3年11月 島新田区より合意回答
- ・ R3年10月～12月 近隣2区にて協議説明
- ・ R4年5月 上十日町、三郎丸区より了承回答

主な活動日誌 (4月～7月)



4.29 花角知事県政報告
(ホテル坂戸城)



5.21 浦佐小運動会



7.15 町内注連作り
(浦佐夏祭り)



5.8 自民党県定期大会(新潟市)



5.30 中国総領事館表敬訪問



7.17 お神輿渡御



5.13 松井利夫氏講演会
(六日町駅事業創発拠点)



6.12 グルメマラソン



7.24 生ビール&鮎まつり
(舞毘の踊りに大声援)

★大ケヤキ保護作業（5月16日～19日）

昨年11月に、毘沙門堂境内の大ケヤキ7本を今泉樹木医から調査診断いただく。それに基づき、今回の土壌改良作業、危険個所調査になる。謙信公お手植えの「吉祥櫓」は樹齢500年、樹齢700年の「長寿櫓」、「夫婦櫓」は400年。他の4本も400～600年の巨木。このケヤキ群は平成27年に市指定となる。



作業のはじまる前日・16日に、今回の作業についての説明・研修会を行う。室内・現地と3時間にわたる。



穿孔器具から高圧水(液肥)を噴射。約80cm深に1本の櫓に800～1000打つ



全ての櫓に登はんし、空洞や危険個所調査。危険個所は削除する。



左端が今泉造園の今泉孝文樹木医。3人は地元のエル・グリーン。

★県知事選挙、参議院選挙

告示日5.12、投開票5.29の県知事選挙は、花角氏70万票、片桐氏30万票で花角氏が圧勝する。

公示6.22、投開票7.10の参議院選挙は、実家がお寺（真言宗智山派）副住職でもある県議会4期のエース、49歳の若い小林氏を選ぶ。結果は517千票と448千票で、約7万票の差があったが、最終盤まで分からなく激戦であった。



★総務文教委員会(7月22日)



坂戸城跡

今回の調査は①文化財(城跡)の保存状況 ②生徒の部活動の地域移行 ③防災対策。国指定である坂戸城跡は現地で説明を受ける。県指定が樺澤城跡、市指定が浦佐城跡と雷土城跡。今後は利用についても検討。

・これから暑さ本番、健康にご留意ください。
・日本文理と帝京長岡の熱戦にテレビの前にくぎ付けになる。甲子園での活躍を！
・コロナ市内感染者七十八名と増加。四回目のワクチン接種が始まっている。熱や容体が変わったら、まずは「かかりつけ医」に電話する。

編集後記

★湯沢・南魚沼・魚沼市議会議員協議会(7月26日)

湯沢11名(1欠)、南魚沼22名、魚沼18名の議員が一堂に揃うのは三年ぶり。

二市一町は、生活・経済圏も同一で、中央への要望・陳情活動(河川、国県道、鉄道、豪雪、医療・介護等)を一緒におこなっている。今年も9の要望項目。

講演会「演題～地域マネジメントを学ぶ」を聴講後、令和4年度の定期総会。来賓に鷺尾・米山両代議士、皆川・松原両県議(樋口は欠)、林・内田・田村の首長が挨拶。四年度の予算は起立による採決が行われる、結果は起立多数で可決。反対者は南魚沼市議員1人。質問は分かるが、反対しなくてもいいと誰もが思った。

